



たんぽぽ



よもぎ 蓬だんご こねて ゆでて 200個 越えて

北里学級恒例の季節の行事「よもぎだんご作り」は歴史があります。20年も前にはこの蓬だんご作り、北里大学のキャンパスの中の大桜並木の周りにたくさんあった若くて柔らかいよもぎを摘んで使いました。しっかり茹でた後、包丁で細かく細かく刻んだ話を北里学級の先輩の先生方から伺ったことを思い出します。味付けは当時から引き継がれてくきなこ・つぶあん・ねりあん>の3種類です。調理を担当したのは中学部のお姉さん二人です。応援に駆けつけてくださったのは病院ボランティアさん、看護学生さん。途中からかわいらしい小学部の男子も応援に来てくれました。また、準備からご協力を頂いた保護者の皆様、小児病棟のドクター、看護師長さんを始め病棟スタッフの皆様、感染管理室の皆様、栄養部の皆様、そして、お片付けでは北里学級担当の清掃員さんにお世話になりました。



今年の蓬だんごも大成功でおいしく頂きました。午後一番に小児病棟のドクターと看護師さん、病院長先生、看護部長さん、リハビリセンター、栄養部へとプレゼントさせてもらいました。病院はとっても広く、それぞれの部屋が遠くて迷路のようでしたが、なんとか迷わずに届けることができました。今回、回りきれなかったところへは、この秋にお届けしようと計画しています。どうぞお楽しみに。翌日、北里学級に栄養部のスタッフの皆さんからのお礼状が届きました。『とってもきれいにできていました。』『食べたらずせな気持ちになりました。』『丸め方が上手だと思いました。』『つやつやしていてとてもきれい。』『ミニサイズでとてもかわいいです。』『よもぎだんごとあんこの組み合わせがおいしかったです。』調理実習をした中学生たちも、どこへ伺ってもうれしそうにお団子を受け取ってもらったり、学級に届いたお礼状を読ませてもらったりして、とても幸せな気持ちになりました。

中学部名物「入院川柳」 or 「退院川柳」

中学部では、入院して初めて北里学級に学習参加する際「入院川柳を作ろう」のプリントが配られます。歴代の傑作川柳を味わいながら、退院までに川柳制作にチャレンジしてもらいます。病棟のスタッフのみなさんもよく知っていて、白い短冊をみるとハハーンと関心を持って観ていただいています。NEW川柳を4句ご紹介します。

点滴の	無限の命	10日間	禁食治療 作
退院で	川柳考え	面倒臭い	入院中の面倒臭がり 作
寝て起きる	ほうたい取れて	ナース呼ぶ	アトピーもうひどくなるなよ 作
入院で	人の優しさ	身に染みる	ちーちゃん 作

さあ、皆さん。上記の4句をどのように読み取られたでしょうか。この川柳を受け取る時は生徒が退院する時です。生徒も保護者もこの日が来るのをどんなに待ち遠しく思ったことでしょうか。医療チームも教職員チームも、ボランティアチームも大学生チームもお別れはさびしいですが、大きな声でおめでとうと言って病院から大好きな自宅へ送り出します。